

尼崎市立成良中学校



学校だより

平成27年1月16日

阪神・淡路大震災から20年 つながれた命、一生懸命生きよう!!

6,434名の命、約25万棟の家屋（全半壊）を奪った阪神・淡路大震災から20年がたちます。先日、ベイコムで「成人の日のつどいい」があり、1995年生まれの新成人が晴れやかな姿で集まりました。新成人の代表は「震災のまっただ中に生まれた私達は、生かさせていただいたことに感謝し、精いっぱい人のためになる生き方をします」と決意を述べていました。南海トラフ地震は今後30年以内に60%の確率で起こるといわれています。大切な命や平和な生活をなくさないため、1月17日、防災について家族と話し合う日にしてほしいと思います。また、震災を経験されている保護者の方は、ぜひ、あの日のことをお子様に話してほしいと願います。

私の震災体験

平山直樹

当時、西宮の25階建て公団住宅の17階で被災しました。半端ない揺れで起き、とっさに娘の上にかぶさって揺れの収まるのを待ちました。家族の命に別条はなかったのですが、家の中はぐちゃぐちゃで、ガラスで足を切りました。何が起こったのか分からずテレビをつけると、町のいたるところで水が噴き出し、倒れた家から人が飛び出してくる姿、阪神高速は横倒しになり、神戸の長田区では火災が時間とともに広がる映像がどのチャンネルでも流れていました。その後、学校（城内中学校）へ行ったのですがもちろん授業などできません。トイレの水を確保するためプールからホースを引いたこと、液状化した築地・初島地区でみた生徒のたくましい姿、私立高校の進路相談で大阪に入ったらいつもと変わらない生活があり、川を一つ越すたびに街の光景が変わっていたことなど強烈に覚えています。神戸に住んでいた従兄の連絡がつかず、翌々日に神戸に入って目に飛び込んできたのは、ほこりだらけの街、リュックを背負った人が無口に歩く姿でした。まるで歴史の教科書で見た戦後荒廃した日本にいるような感覚でした。避難所を何か所もまわったのですが、どこも、張り紙だらけの教室、グラウンドの火を囲んで暖を取る人（無口で表情のない人が多かったように思います）でいっぱいでした。次の日から学校に泊りながらの生活が始まりました・・・。

20年前の出来事ですが、鮮明に覚えています。震災の記事を読むと今でも涙が出ます。それは、群馬や埼玉から寝ずに来て給水車で水をポリタンクに入れてくださった方、亡くした人の思い出、人は優しく助け合えるんだ、その人間も自然の前では無力なことなどがよみがえってくるからです。本当にたくさんのことを学んだ震災でした。

新生徒会 始動!!

3学期始業式のあとに新旧生徒会の引き継ぎ式が行われ、正式に新しい開田陸くんを中心とした新生徒会執行部の活動が始まりました。早速、朝の門立ちや玄関の掃除に取り組んでいます。また、2月には明城小、金楽寺小の6年生を迎える準備もしています。学校が活気あるかどうかは、学校を自分たちの手でよくしていこうという自治活動（生徒会活動）にかかっています。11年目に向け3年生からバトンを受け継ぎ、1・2年生が中心となって“居心地のよい活気あふれる学校”を作ってくれると期待しています。執行部はその牽引役よろしくお願いします。

会長	開田 陸	風紀	大林美憂
副会長	稲垣風香	広報	太田美登里
書記	升岡 豊	体育	吉田 龍
文化図書	開田 樹	保健	川崎綾乃
整美緑化	山本虎次郎	放送	砂場わかな



新春カルタ大会

1月9日に、1・2年生のカルタ大会がありました。先生方が交代で詠み、個人とクラスで競

いました。2年生では、上位者グループも作り、上の句で取り合う白熱した戦いが見



られました。百人一首は日本古来の伝統行事です。5・7・5・7・7の百人一首の歌には、時代を超えた情感や心地よいリズムが込められています。高校でも百人一首



に取り組む学校増えているそうです。

- ◆1年優勝 3組
- ◆2年優勝 3組

文化面で活躍中

兵庫短歌祭

兵庫県芸術文化協会賞
2-3 関山聖子

契沖顕彰短歌大会

契沖賞 2-3 砂場わかな
山の井賞 2-1 太田耕作
2-4 齋藤充紀

花と緑の絵画コンクール

入選 美術部

今後の主な予定

- 1月17日(土) 土曜参観
新入生説明会
- 19日(月) 代休日
- 26日(月) 私立高校出願
- 2月10日(火) 私立高校入試
- 14日(土) 公立高校推薦入試